

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 災害に係る情報収集能力向上事業

自治体名

福岡県大牟田市

消防団名

大牟田市消防団

1 事業の目的・必要性

災害時における消防団の情報収集能力向上のため、ドローン導入及び資格取得を行う。これにより、様々な災害現場において活動困難地域での情報収集や、地域住民の安全確保を実施。また収集した情報を消防本部や災害対策本部と共有することで、今後の災害対応計画に活用する。市内全体の被災状況の早期把握が可能となり迫る危険を事前に排除することができる。

2 事業内容

消防団ドローン導入による組織強化事業

ドローン導入により災害情報収集力を強化し、災害時における避難誘導や災害対策本部における救助活動等に活用する。また地域での防災訓練などに参加し、訓練風景などを情報共有しながら地域における防災意識向上の啓発にも活用する。

【ドローン技能者講習】

【ドローン機動部隊発足式】



3 事業成果

- ・ドローン10機導入、無人航空機操縦技能者6名養成。
- ・既存の操縦技能者2名資格取得者6名の計8名体制で「ドローン機動部隊」を発足。
- ・部隊での合同訓練5回、個別訓練延べ30回、署団合同訓練2回を実施。
- ・訓練で撮影した動画を分団長会議等において共有。
- ・令和6年1月に飲食店街で3棟を焼損する火災が発生。ドローン機動部隊において延焼状況や残火の確認を行い、消防本部と情報を共有。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
運用方法検討会議	回数	3回	3回	訓練内容、実施計画の検討回数
資格取得者数	人数	6名	6名	新規資格取得者数
現場想定訓練	回数	5回	7回	部隊訓練5回、署団合同訓練2回
ドローン配置台数	台	7台	10台	団本部2台 各方面隊2台配備

5 その他参考情報

テレビ、新聞、ラジオにてドローン機動部隊の広報実施